

目次

CQ, 推奨一覧	0
フローチャート 1 子宮体癌の初回治療：術前にⅠ・Ⅱ期と考えられる症例	2
フローチャート 2 子宮体癌の初回治療：子宮摘出後に子宮体癌あるいはより 高リスク群と判明した症例	3
フローチャート 3 子宮体癌の初回治療：術前にⅢ・Ⅳ期と考えられる症例	4
フローチャート 4 子宮体癌の術後治療	5
フローチャート 5 子宮体癌の再発治療	6
フローチャート 6 妊孕性温存療法(子宮内膜異型増殖症・類内膜癌 G1)	7
フローチャート 7 子宮癌肉腫の治療	8
フローチャート 8 子宮肉腫の治療	9
フローチャート 9 絨毛癌の治療	10
本ガイドラインにおける基本事項	12
Ⅰ 進行期分類	12
Ⅱ リンパ節の部位と名称	18
Ⅲ 組織学的分類	22
Ⅳ 手術療法	24
Ⅴ 術後リスク分類	25
Ⅵ 化学療法	26
Ⅶ 放射線治療	28
Ⅷ 緩和ケア	30
第 1 章 ガイドライン総説	33
第 2 章 初回治療(特殊組織型を含む)	39
総 説	39
Ⅰ 子宮摘出術式	39
Ⅱ リンパ節郭清	40
Ⅲ 病理組織型	41
CQ 01 術前にⅠ期と考えられる症例に対する子宮摘出術式は？	44
CQ 02 術前にⅡ期と考えられる症例に対する子宮摘出術式は？	47
CQ 03 骨盤リンパ節郭清の適応は？	50

CQ 04	傍大動脈リンパ節郭清(生検)の適応は？	55
CQ 05	大網切除の適応は？	60
CQ 06	卵巣温存は可能か？	63
CQ 07	漿液性癌または明細胞癌に対して推奨される手術術式は？	67
CQ 09	病期推定に有用な画像検査は？	71
CQ 10	子宮摘出標本の術中迅速病理組織学的検査は術式決定に有用か？	75
CQ 12	センチネルリンパ節生検結果によるリンパ節郭清(生検)の省略は可能か？	79
CQ 13	手術に際して腹腔細胞診を行うべきか？	83
CQ 14	腹腔鏡下手術の適応は？	86
CQ 15-1	子宮摘出術後に子宮体癌と判明した症例の取り扱いは？	91
CQ 15-2	低リスク群に対する術後に中・高リスク群と判明した体癌症例の取り扱い は？	93
CQ 16	根治的放射線治療の適応は？	95
第3章	術後治療(特殊組織型を含む)	98
総説		98
CQ 00	術後補助療法の適応と推奨される治療法は？	101
CQ 17	術後化学療法に推奨される薬剤は？	104
CQ 18	術後の補助療法としてホルモン療法は有用か？	108
CQ 19	術後放射線治療(術後照射)の適応は？	110
第4章	治療後の経過観察	114
総説		114
CQ 21	治療後の経過観察の間隔は？	117
CQ 22	治療後の経過観察に内診や腔断端細胞診を行うべきか？	120
CQ 23+24	治療後の経過観察に血清腫瘍マーカーの測定や画像検査を行うべきか？	122
CQ 25	治療後のホルモン補充療法(HRT)は推奨されるか？	125
第5章	進行・再発癌の治療	127
総説		127
I	進行癌	127
II	再発癌	128
CQ 26	術前にⅢ・Ⅳ期と考えられる症例に対する手術療法の適応は？	131

CQ 27	切除困難または病巣残存が予想される進行癌に対して術前治療を行うか？	135
CQ 28	腔断端再発に対する治療法は？	138
CQ 28-2	腔断端以外の再発癌に対する手術療法の適応は？	140
CQ 29	切除不能または残存病巣を有する進行癌・再発癌に対して推奨される化学療法は？	143
CQ 30	切除不能または残存病巣を有する進行癌，腔断端以外の再発癌・転移癌に対して放射線治療を行うか？	147
CQ 31	進行癌・再発癌に対してホルモン療法を行うか？	151

第6章 妊孕性温存療法(子宮内膜異型増殖症・類内膜癌G1相当)154

総説	154
CQ 32+33	子宮内膜異型増殖症または類内膜癌 G1 相当で妊孕性温存を希望する場合の治療は？	157
CQ 34	妊孕性温存療法後の経過観察の間隔と検査は？	162
CQ 35	妊孕性温存療法後の再発例に推奨される治療法は？	164
CQ 36	妊孕性温存例に対して排卵誘発を行ってもよいか？	167

第7章 癌肉腫・肉腫の治療170

総説	170
CQ 37	子宮癌肉腫に対して推奨される手術術式は？	173
CQ 38	子宮癌肉腫に対して推奨される術後治療は？	175
CQ 39	子宮癌肉腫の進行・再発例に対する治療法は？	177
CQ 40	子宮平滑筋肉腫に対して推奨される手術術式と術後治療は？	180
CQ 41	子宮内膜間質肉腫に対して推奨される手術術式と術後治療は？	184
CQ 42	子宮平滑筋肉腫・子宮内膜間質肉腫の切除不能進行例や再発例に対して推奨される治療法は？	187

第8章 絨毛性疾患の治療192

総説	192
CQ 43	侵入奇胎，臨床的侵入奇胎，および奇胎後 hCG 存続症に対して推奨される化学療法は？	196
CQ 44	絨毛癌に対して推奨される化学療法は？	199
CQ 45	絨毛癌に対する手術療法の適応は？	202

CQ 46	絨毛癌に対する放射線治療の適応は？	205
CQ 47	Placental site trophoblastic tumor (PSTT) ・ epithelioid trophoblastic tumor (ETT) に対して推奨される治療法は？	207
CQ 48	hCG 低単位持続例の取り扱いは？	209
第9章	資料集	212
I	抗悪性腫瘍薬の有害事象一覧	212
II	略語一覧	214
文献検索式	000
索引	000